

## 養護実習事前学習としての保健室掲示物作成に関する一考察

斉藤 ふくみ\*

(2012年9月15日受理)

A Study on Creating an Information Board Prior to Practical Training for Yogo Teachers

Fukumi SAITO

キーワード:保健室掲示物, 養護実習, 事前学習

各学校の保健室には様々な掲示物が掲示されている。それらの掲示物は、保健室経営者である養護教諭が保健室経営方針に基づき、学校保健目標の達成や保健室経営のねらいの達成を目指して作成し、提示する教育媒体(教材)である。養護実習の学習課題に掲示物作成が含まれており、事前指導を行うことが大切である。保健室掲示物の意義・目的を押さえ、教材研究を積み重ねることは、より実質性の高い事前指導の実施と、学生の実践力育成につながるものと思われる。

本研究は、本学養護教諭養成課程2年次対象の2010年度及び2011年度の後期「養護活動実習Ⅰ」(選択科目)において課した養護実習事前学習としての保健室掲示物作成を対象として、2010年度36例、2011年度39例、計75例の作品を分析し、学生が作成する掲示物の傾向を捉えるとともに、今後の指導に向けた課題や改善策を明らかにすることを目的とする。

掲示物の分類では、A:保健指導型が42.7%と最も多く、次いでB:実験型(14.7%)、C:広報・伝達型(13.3%)が続いた。

### I はじめに

養護教諭は、自校の児童生徒の健康実態の把握のみならず、地域、保護者、教職員の子どもの健康に関する願いや保健室への要望を捉えて保健室を運営し、養護活動を展開している。養護教諭が保健室から発信する教育的媒体には、保健日よりとともに掲示物が大きなウエートを占める<sup>1) 2)</sup>。保健室には掲示物があることが一般的であるが、掲示物を詳細に分析した研究は少ない。一方掲示物実践の紹介は散見される<sup>3) 4)</sup>。木下<sup>5)</sup>は、掲示物は養護教諭の創造性が遺憾なく発揮できる領域だとして、作り手(養護教諭)と受け手(子ども)との双方向性の交流を育む作品づくりを行っている。小中学校における掲示スペースは教育上重要な位置を占めているにもかかわらず、明確な指針が示されていない<sup>6)</sup>ことから建築学の立場からは、壁面活用の視点(面積や材料等)<sup>7)</sup>や掲示物の内容と児童の視線との関連<sup>8)</sup>、生徒の行動変化との関連<sup>9)</sup>、掲示物の分類<sup>6)</sup>がなされていて示唆

\*茨城大学教育学部

に富む。

そこで本研究では、実習前に学生が作成した掲示物を分析することを通して、事前指導のあり方を検討するとともに「養護活動実習Ⅰ」の授業構築の資料を得ることとする。得られた結果から、授業の課題や改善策を明らかにする。

## Ⅱ 対象および方法

対象授業は本学養護教諭養成課程2年次対象の2010年度及び2011年度の後期「養護活動実習Ⅰ」（選択科目）である。分析対象は本科目の受講生79名（2010年度36名、2011年度39名）が作成した掲示物である。なお、2009年度に同授業の中で掲示物作成を行ったが、試行であったため本研究では対象に含めない。

研究期間は、2010年10月～2012年3月である。分析方法は、掲示物を撮影しデータとして、テーマ、形状、素材、色、用途の視点で分析した。なお、本授業の概要は表1のとおりである。本研究では、授業計画3）養護実習の内容と方法の一項目として掲示物の作成を課した。掲示物に関する指導過程は表2のとおりである。

倫理的配慮として、受講生に対しては、1年次の授業始めに筆者担当の全授業の記録と提出物等について、授業改善のために分析することがあることを口頭と文書で説明し、了解を得た。

表1 「養護活動実習Ⅰ」の授業概要

概要	養護実習は養護教諭養成カリキュラムの中核を占めるものである。間近に迫った養護実習に向けて、養護の専門家として育つために必要な知識と技術の習得を目指す。専門となる知識と技術を、学校教育活動の中で展開する具体的な養護活動に結び付けていく実習を行う。
到達目標	養護実習の意義を理解し、心構えを持つことができる。養護実習に必要とされる基礎・基本となる知識・技術を習得し、実際場面で行動化することができる。学校教育の一環としての養護活動過程を仮想学校での実習を通して体験し、理論と技術を統合することができる。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ガイダンス（授業の進め方）</li> <li>2) 養護実習の意義と目標</li> <li>3) 養護実習の内容と方法</li> <li>4) 事前準備と心構え</li> <li>5) 教育計画と学校組織</li> <li>6) 学校保健計画</li> <li>7) 学校安全計画</li> <li>8) 学校の生活と環境</li> <li>9) 保健室経営計画</li> <li>10) 健康管理体制</li> <li>11) 保健室来室者への対応</li> <li>12) 健康相談活動</li> <li>13) 集団対象の保健指導</li> <li>14) 健康教育</li> <li>15) 各自の養護実習の目標と計画作成</li> </ol>

表2 掲示物に関する指導過程

授業計画	指導内容
3) 養護実習の内容と方法	掲示物について（目的、対象、用途、素材等） 掲示物企画書の作成・提出
4)～15)	1回3名程度の発表を行った。発表者は講義室（B311）で発表後、作成した掲示物を隣室の模擬保健室に掲示した。

### Ⅲ 結果

#### 1. 掲示物の概要

2010年度受講生36名の掲示物の概要を表3に、2011年度受講生39名の掲示物の概要を表4に示した。さらに掲示物の分類を表5に示した。

表3 掲示物の概要 (2010) n=36

No.	テーマ	形状	素材	色	用途	型
1	ゆっくり休んでね	休養を知らせるパネル	柔らかいネル素材、刺繍	淡色	ひよこがアクセント	G
2	かたぶさができるまで	絵本	色画用紙、マジック		立体的に貼っている	A
3	心の相談室予約カード	カードを入れるボックス	フェルト、レースの花	淡色	秘密が守られる	C
4	きゅうきゅうばこ	説明付きのテープや包帯	色画用紙(丸形)に貼っている	淡色	裏返すと説明文	A
5	食べ物迷路	箱、食道へ小腸、構造図	色画用紙で立体的	明色	ビー玉を転がす	B
6	養護教諭の居場所	表示板	コルクボード、色画用紙、クレヨン	淡色	ピンで示す	C
7	ものしりはかせになろう!	クイズ、ノート型	スケッチブック		裏に答え	A
8	あさごはんたべよう	壁に貼る	色画用紙で立体的	明色	食べ物カードを選ぶ	A
9	心臓、手の汚れ	解剖	色軍手に血管つける、汚れは刺繍		握ると心臓の形	B
10	保健委員さんへ	掲示板	ホワイトボードに子どもの絵		連絡事項を書き換える	C
11	RICE	掲示物	発砲スチロールで立体的、マジック	明色	説明	A
12	RICEをやってみよう	掲示物	女の子に包帯・氷水を貼る		マジックテープで着脱	A
13	食物	掲示物	色画用紙、食品のカード		貼る	A
14	ねえ、知ってる	ボード	ホワイトボードにカーテン付き		書き換える	A
15	ちょうしょくをたべよう	壁に貼る	色画用紙とフェルト	明色	マジックテープで着脱	A
16	健康診断はなんでやるの?	掲示物	色画用紙、マジック		〇×式でめくると答え	A
17	パズル	ジグソーパズル	厚紙		完成するとメッセージ	B
18	どんなきもち	掲示物	ハート色画用紙(ニコニコぶつぶん)	明色	めくるとアドバイス	D
19	おともだちがねています	パネル	フェルト、アップリケ、刺繍	淡色	くまさんがお願い	H
20	9月9日は救急の日	ボード	コルクボード、色画用紙、フェルト		めくると説明	A
21	ゆっくり休んでね	ぬいぐるみ	手作りぬいぐるみ、パネル		くまがパネルを持つ	G
22	健康おみくじ	掲示物	ボックス、色画用紙		ひくとアドバイス	E
23	小腸のをぞいてみよう	ボックス	指サック、のぞき窓	明色	覗くとサックがびっしり	B
24	見てみよう!保健室の様子	ボード	コルクボード、花の形の折り紙		人数を花で表現	C
25	すききらいしないで	掲示物	色画用紙、食品		食品を貼る	A
26	朝のみじたくを整えよう	掲示物	フェルト、毛糸、みじたくセット	暖色	女の子にみじたくする	B
27	そうだんちゅう	パネル	布、フェルト		くまがプレートを持つ	H
28	かぜを予防しよう	掲示物	色画用紙		説明文	A
29	お魚さんどっち向いてる?	掲示物	大小さまざまな魚		視力ごとのアドバイス	B
30	歯を大切に	掲示物	立体的な男の子の顔	明色	口を開けると歯の構造	A
31	はみがきをしよう	掲示物	色画用紙		虫歯の成り立ち説明	A
32	日やけてなあに?	掲示物	色画用紙		日やけの過程説明	A
33	毎日みがいてきれいな歯	掲示物	色画用紙		歯と子ども	A
34	身長・体重のバランス	掲示物	グラフ		チェックする	B
35	うんち	お手玉	1回の排便量をお手玉で表現		説明文	B
36	せいくらべをしてみよう	模型	発砲スチロール		きりにメモリ	E

型) A:保健指導型, B:実験型, C:広報・伝達型, D:参加型, E:ためし型, F:癒し型, G:支援型, H:注意喚起型, I:諸表簿型

表4 掲示物の概要 (2011) n=39

No.	テーマ	形状	素材	色	用途	型
1	カゼをひかないようにしましょう	掲示物	色画用紙、咳が飛ぶ長さヒモで表現	明色	口からヒモひく	B
2	おやつについて考えよう	掲示物	マジック、色鉛筆		砂糖の量めくると答え	A
3	正しい姿勢ゲーチャョキパー	掲示物	色軍手に綿をつめ立体的		人の絵に軍手	A
4	ほけんしつのおやくそく	掲示物	色画用紙	明色	貼って説明	A
5	正しい手のあらい方	掲示物、クイズ	色画用紙、マジック		クイズをめくって答え	A
6	血管の中	ブラケース	赤いセロファン、消しゴム		血液の成分	B
7	ケガしちやった	掲示物	色画用紙、きりきず、すりきず		めくる	A
8	やけどの処置	4コママンガ、掲示物	色画用紙、クレヨン		物語風	A
9	健康チェックをしよう	ボード	コルクボード、色画用紙、フェルト		顔、ほけんだより掲示	E
10	なぜ子どもの歯ははえかわる	絵本	画用紙		絵と文章	A
11	いろいろなうち	掲示物	紙粘土、コルク板		マグネットでくつつく	A
12	冷え性について	箱、シート	コルク板に食品の絵		裏に〇×	D
13	みんな元気かな?	掲示物、グラフ	模様入り模造紙、色画用紙		出席者数	C
14	居場所、お知らせ	プレート	厚紙、プレート		かたつむり型、女の子	C
15	なんでもノート	ボード	コルク、色画用紙、毛糸(たんぼぼ)	明色	ノートつるしてある	D
16	寝るってこんなに大切!!	掲示物	模造紙、色画用紙		女の子、説明	A
17	どうしましたか	ノート型	スケッチブック、インデックス		絵、説明	D
18	くまのぬいぐるみ	置物	手作り	暖色	抱く、触れる	F
19	目の不思議	絵本	スケッチブック、		物語、まんが	A
20	口の中をみてみよう!	掲示物	画用紙、色画用紙で立体的		口開けると歯	A
21	インフルエンザ対策をしよう	掲示物	パネル、色紙(ウイルス)	明色	ウイルスが回転する	B
22	はのけんこう	絵本	フェルトで歯		立体的	A
23	健康診断の結果	掲示物	色画用紙		身長・体重を人型で表現	C
24	かぜを予防しよう	ボード	コルクボード		裏にアドバイス	A
25	詩	スタンド	写真立て、フェルト、レース		取り替え可能	F
26	ほけんしつ居場所	パネル	コルクボード、フェルト、レース	淡色	居場所カードを変える	C
27	清潔チェック	掲示物	色画用紙、封筒		中にお手紙	D
28	かむことイイこと	掲示物	色画用紙、かるたの絵	明色	立体的	A
29	〇月の保健目標	掲示物	画用紙、ヒモ		ヒモひくと質問カード	C
30	薬にはいろいろな種類がある	絵本	フェルト、マジックテープ	淡色	はがして貼る	D
31	居場所	プレート	フェルト、プレート		くまさん、立体的	C
32	ほけんしつりようきろく	ファイル	フェルト	明色	けが、びょうき	I
33	こころのこと	絵本	フェルト	淡色	立体的	G
34	冬を元気にすごすには	ボード	コルクボード、フェルト		生活振り返り	D
35	さいころクイズ	置物	フェルト	淡色	各面ポケットにクイズ	E
36	おぼえておこう!ケガの手当	掲示物	マジック、絵	明色	6種類のケガの手当	A
37	HAPPYおみくじ	置物	箱、フェルト		おみくじをひく	E
38	ほけんしつから	ボード	コルクボード、ポストイット		意見を書く	D
39	赤ちゃん人形	人形	手作り、綿、布、おもり	肌色	赤ちゃんの重さ	F

型) A:保健指導型, B:実験型, C:広報・伝達型, D:参加型, E:ためし型, F:癒し型, G:支援型, H:注意喚起型, I:諸表簿型

表5 掲示物の分類 個 (%)

分類 (型)	2010年 (n=36)	2011年 (n=39)	計 (n=75)
A: 保健指導型	17(47.2)	15(38.5)	32(42.7)
B: 実験型	8(22.2)	3(7.7)	11(14.7)
C: 広報・伝達型	4(11.1)	6(15.4)	10(13.3)
D: 参加型	1(2.8)	7(17.9)	8(10.7)
E: ためし型	2(5.6)	3(7.7)	5(6.7)
F: 癒し型	0	3(7.7)	3(4.0)
G: 支援型	2(5.6)	1(2.6)	3(4.0)
H: 注意喚起型	2(5.6)	0	2(2.7)
I: 諸表簿型	0	1(2.6)	1(1.3)

全体でみると、A: 保健指導型が 32(42.7%)と最も多くなっており、次いで B: 実験型 11(14.7%)、C: 広報・伝達型 10(13.3%)、D: 参加型 8(10.7%)と続いた。年度比較では、2010年度はA型、B型、G: 支援型、H: 注意喚起型が多く、2011年度はC型、D型、E: ためし型、F: 癒し型、I: 諸表簿型が多かった。

形状別では、全体に掲示物 32(42.7%)が最も多く、次いでボード 8(10.7%)、絵本 6(8.0%)が続いた。

## 2. 分類ごとの具体例と工夫点

各分類ごとに特徴的なものを一つずつ取り上げ、テーマ、特徴、工夫点を表6にまとめた。

表6 分類別掲示物例示とテーマ・特徴・工夫点

分類	データ	テーマ・特徴・工夫点
A: 保健指導型	 <p>No.30 (2010)</p>	<p>テーマ「歯を大切に」</p> <p>特徴・・・模造紙に色画用紙を貼り付けて立体感を出している。色がはっきりして子どもの目を引く。</p> <p>工夫点・・・男の子の口を開けると歯の構造になっている。子どもは開けてびっくりする。</p>
B: 実験型	 <p>No.23 (2010)</p>	<p>テーマ「小腸をのぞいてみよう」</p> <p>特徴・・・箱型に作成して、のぞき穴がついている。画用紙に絵を描いて貼っているので立体的である。</p> <p>工夫点・・・のぞき穴からのぞくと、指サックがびっしりくっついていて、絨毛の様子がわかる。</p>
C: 広報・伝達型	 <p>No.26(2011)</p>	<p>テーマ「ほけんしつ居場所」</p> <p>特徴・・・コルクボードにレースやフェルト、花などを飾るとともにうさぎの絵で表現して親しみやすい。</p> <p>工夫点・・・居場所カードが数枚用意しており、表示を変えることができる。</p>

<p>D：参加型</p>	 <p>No.38(2011)</p>	<p>テーマ「ほけんしつから」  <b>特徴</b>・・・コルクボードに今月の目標を掲示できるようになっている。みんながかんがえようと呼びかける。  <b>工夫点</b>・・・保健室からの呼びかけに子どもが自分の考えや意見、質問をポストイットに書いて貼ることができる。</p>
<p>E：ためし型</p>	 <p>No.35(2011)</p>	<p>テーマ「さいころクイズ」  <b>特徴</b>：フェルトできていて、感触が柔らかい。各面にポケットがあり、クイズが書いてある。  <b>工夫点</b>・・・クイズの裏に答えが書いてある。クイズは差し替えができる。</p>
<p>F：癒し型</p>	 <p>No.39(2011)</p>	<p>テーマ「赤ちゃん人形」  <b>特徴</b>・・・手作り人形。肌色で柔らかい素材でできている。抱くことができる。  <b>工夫点</b>・・・砂をおもりにして、赤ちゃんの体重とほぼ同じ重さにしてある。抱くことによって、赤ちゃんの重さを実感し、命を大切に扱うことを自然に学ぶ。</p>
<p>G：支援型</p>	 <p>No.33(2011)</p>	<p>テーマ「こころのこと」  <b>特徴</b>・・・絵本になっている。フェルトと淡い色で暖かい印象になっている。  <b>工夫点</b>・・・今の気持ちを選んでもらい、めくるとアドバイスがわかりやすい言葉でつづられている。</p>
<p>H：注意喚起型</p>	 <p>No.19(2010)</p>	<p>テーマ「おともだちがねています」  <b>特徴</b>：パネルを柔らかい布でくるみ、フェルトでアップリケにしている。  <b>工夫点</b>・・・クマさんがそっと教えてくれていることで、静かにしなくてはいけないことを、子どもが気づけるような配慮がなされている。</p>
<p>I：諸表簿型</p>	 <p>No.32(2011)</p>	<p>テーマ「ほけんしつりょうきろく」  <b>特徴</b>・・・市販のファイルを色画用紙でくるんで色分けしている。動物や文字をフェルトでアップリケにしている。  <b>工夫点</b>・・・びょうきとけがと分けている。記入例を表紙に見やすく示すことで、子どもは記入しやすい。</p>

#### Ⅳ 考察

保健室掲示物は子どもたちにとって保健のこと、からだのことを学ぶ教材である<sup>10)</sup>。教材とは、「ある人が何かを教えようと考えて、そのための材料として用意するもの」を意味する<sup>11)</sup>。保健室は子どもの健康に関する情報が集積される場所であり、いわばオリジナルデータの宝庫であり、それをいかに活用すべきかをつねに念頭に置くべきである<sup>12)</sup>。すなわち自校の子どもたちをどう育てたいのか（養護の目標）と養護実践をつなぐ橋渡し<sup>13)</sup>の一つとして掲示物（教材）を捉えなければならない。対象授業の「養護活動実習Ⅰ」では、愛知教育大学後藤が先駆的に始めた仮想学校<sup>14)</sup><sup>15)</sup>を参考に仮想小学校を設定して、そこを舞台として養護活動を展開することに主眼を置いている。

学生が設定した学校は、2010年度はにじいろ小学校、2011年度はたんぼぼ小学校であった。授業の中で、学校を取り巻く環境や子どもたちの居住地域の特徴、保護者の職業などを仮想で設定し、学校の概要（児童数、学級数、職員数など）を決め、学校教育目標、学校保健目標、学校安全目標を設定する。そして、校務分掌を割り振りし、校長、教頭、事務長、養護教諭、各学級担任等を役割分担する。いずれも立候補で決める。そして、時間割、学校行事を決定したうえで、保健室経営計画、環境衛生点検、救急体制、保健指導年間計画、薬品簿、保健室利用記録簿など諸表簿を作成して、少しずつ学校を作り上げていく。その過程で、それぞれの項目の意義や目的等を学習し、理解を深めていく。学校ができあがると、実際に健康診断（身体測定、視力検査、聴力検査等）を実施していく。

本授業のねらいは、養護活動を机上の理論として学ぶだけでなく、実習へ行く前に仮想小学校で実習をプレ体験することである。本学での本授業の開講は2011年度で4年目であり、当初はとまどう学生の姿が見られたものの、次第に軌道に乗ってきている感がある。授業内容の一項目として掲示物作成を課している。3回目の講義の際に前年度の作品をプロジェクターで映して、学生のイメージを高めている。2010年度、2011年度の2カ年の作品を概観すると、以下の4点があげられる。

- ① 保健指導型が最も多く、学生は子どもに伝えたい健康に関する知識を具体化（教材化）しようとしている。
- ② 手にとって触れたりする楽しさを追求する実験型にも関心が高い。
- ③ 癒したり、支援する掲示物の場合は、手作り、フェルト、淡色など柔らかい素材が用いられている。
- ④ オリジナリティーの優れた作品がみられる。

色軍手を握ると心臓の形になったり、箱を覗くと指サックがびっしり付いているなど、発想の豊かなものがみられる。

掲示物は、医学・保健知識に根拠があるものと、子どもの健康実態から出ているものと2つがある<sup>12)</sup>が、本授業においては、現実の子どもは存在しないため、学生が掲示物作成にあたって根拠とするものは前者といえる。しかし、これらの試作は、学生が養護実習に行き、実際に子どもの健康実態を目の前にして、どのような働きかけをしたらよいかの思考刺激になる可能性が高い。小学校養護実習反省会で、指導者である養護教諭から学生が作成した掲示物を掲示していますなどの言葉があり、学生は実習校でも耐えうる掲示物を作成できたといえるだろう。

本授業では、学生が1回3名程度発表する機会を設け、テーマ、目的、用途、素材、作り方、作

品に込めた願いなどを発表させている。そして、発表後、質疑応答をして作品理解を深めている。このように公に発表する機会を持つと同時に気づいたことをシェアすること<sup>16)</sup>は重要である。しかし、模擬保健室の掲示壁面が狭い事など課題がある。今後は、できあがった作品管理を改善するとともに、授業方法として、企画書の充実<sup>17)</sup>と評価方法の検討があげられる。また、堀内ら<sup>18)</sup>は児童生徒の多動傾向に拍車をかける可能性のある掲示物を指摘しており、特別支援教育の視点から保健室掲示物を研究することが課題であろう。

さらに、「養護活動実習Ⅰ」全体の授業研究および授業内容の一項目である保健だよりの分析等今後行うべきことは山積している。実践力育成を目指したより質の高い授業実践構築のために努力していかななくてはならない。

## V まとめ

養護実践の範囲は広く、研究が進んでいない領域が多数存在する。養護実習前の実習科目である「養護活動実習Ⅰ」における仮想学校を舞台とした養護活動の展開を通して、一つ一つの活動を丁寧に分析して、養護実践の理論化・系統化・構造化を図っていく必要がある。本研究では掲示物を取り上げた。掲示物については今後も継続的に研究を深めていくとともに、保健だより、ミニ保健指導、健康診断の進め方、諸表簿、担任との連携の実際など授業内容の諸項目について取り上げていきたいと考えている。養護教諭の実践力育成を目指して養成教育の授業研究を推し進めていくことが肝要である。

最後に、2010年度及び2011年度本授業受講生の皆様に心より感謝申し上げます。

## 文献

- 1) 杉浦守邦『養護教諭講座1 養護教諭の職務』（東山書房，1982），317-318.
- 2) 杉浦守邦『養護教諭講座5 養護実習』（東山書房，1984），204-208.
- 3) 藤中ゆかり「オリジナルの掲示物がどんどん進化！」『心とからだの健康』14(4) (2010), 41-43.
- 4) 「健康教室」編集部「保健だよりと掲示物 保健室から発信する健康教育の形」『健康教室』62(13) (2011).
- 5) 木下正江「メッセージはシンプルに、表現は豊穡に！」『健康教室』62(13) (2011), 84-85.
- 6) 斉藤潔・八木澤壯一他「小・中学校の廊下周りの掲示物と教室周りでの時間的变化について」『日本建築学会大会学術講演梗概集』（1996），71-72.
- 7) 斉藤潔・八木澤壯一他「小学校の特別教室・職員室の壁面仕上げと掲示物の分類」『日本建築学会大会学術講演梗概集』（1997），293-294.
- 8) 有田壮志・宮本文人他「小学校の普通教室における前・横・後の壁面の掲示物とその特性」『日本建築学会大会学術講演梗概集』（2006），269-270.
- 9) 倉田奈帆・西村伸也他「教科教室型中学校のオープンスペースにおけるレイアウト及び掲示内



- 容の変更に伴う生徒の行動変化に関する研究』『日本建築学会大会学術講演梗概集』(2010), 457-458.
- 10) 江口篤寿・中安紀美子編『現代学校保健全集第15巻保健室』(ぎょうせい, 1982), 187.
  - 11) 鈴木克明『教材設計マニュアル』(北大路書房, 2007), 2.
  - 12) 飯田澄美子・石原昌江他編『養護活動の基礎』(家政教育社, 1988), 115.
  - 13) 米国学術研究推進会議(森敏昭・秋田喜代美監訳)『授業を変えるー認知心理学のさらなる挑戦』(北大路書房, 2006), 259.
  - 14) 後藤ひとみ「養護教諭の実践力育成にむけた学内実習「養護活動実習」の展開ー仮想学校を舞台とした授業の構成ー」『愛知教育大学教育実践総合センター紀要』11 (2008), 27-32.
  - 15) 後藤ひとみ「養護教諭の実践力育成にむけた学内実習『養護活動実習』における仮想学校づくりのプロセス」『愛知教育大学教育実践総合センター紀要』13 (2010), 17-22.
  - 16) 高垣マユミ『授業デザインの最前線 理論と実践をつなぐ知のコラボレーション』(北大路書房, 2007), 121.
  - 17) 前掲書11), 164-179.
  - 18) 堀内理悦子・古屋義博「特別な教育的ニーズをもつ児童生徒の学ぶ教室環境に関する一考察ー掲示物や備品に視点をあててー」『教育実践学研究』8 (2003), 23-32.